

# Julabo Case Study

## 08-1

### JULABO PRESTO® A40

10Lの反応容器を  
+20°Cから-25°Cに冷却する。



#### 目的:

10リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO®A40の冷却能力テストを実施。A40は、片道2mのメタルチューブでリアクターに接続されています。A40は、+20°C~25°Cへクールダウンするようにプログラムされています。

#### 試験条件:

使用機種	ユラボ社製 PRESTO® A40
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 0.9kW -20°C 0.6kW
加熱容量	2.7kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.40bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL40
反応容器	10Lガラス製反応容器(Normag) (容器内にはユラボ社製サーマルHL40を10L充填しています)
温度制御	外部制御(ICC)

#### 環境:

室温 +20°C  
湿度 45%  
電源 230V/50Hz



#### 試験結果:

次ページのグラフをご参照下さい。  
A40冷却プログラムでは、  
+20°C~-25°Cへ2時間オーバーシュート無しで実施。

#### その他機能:

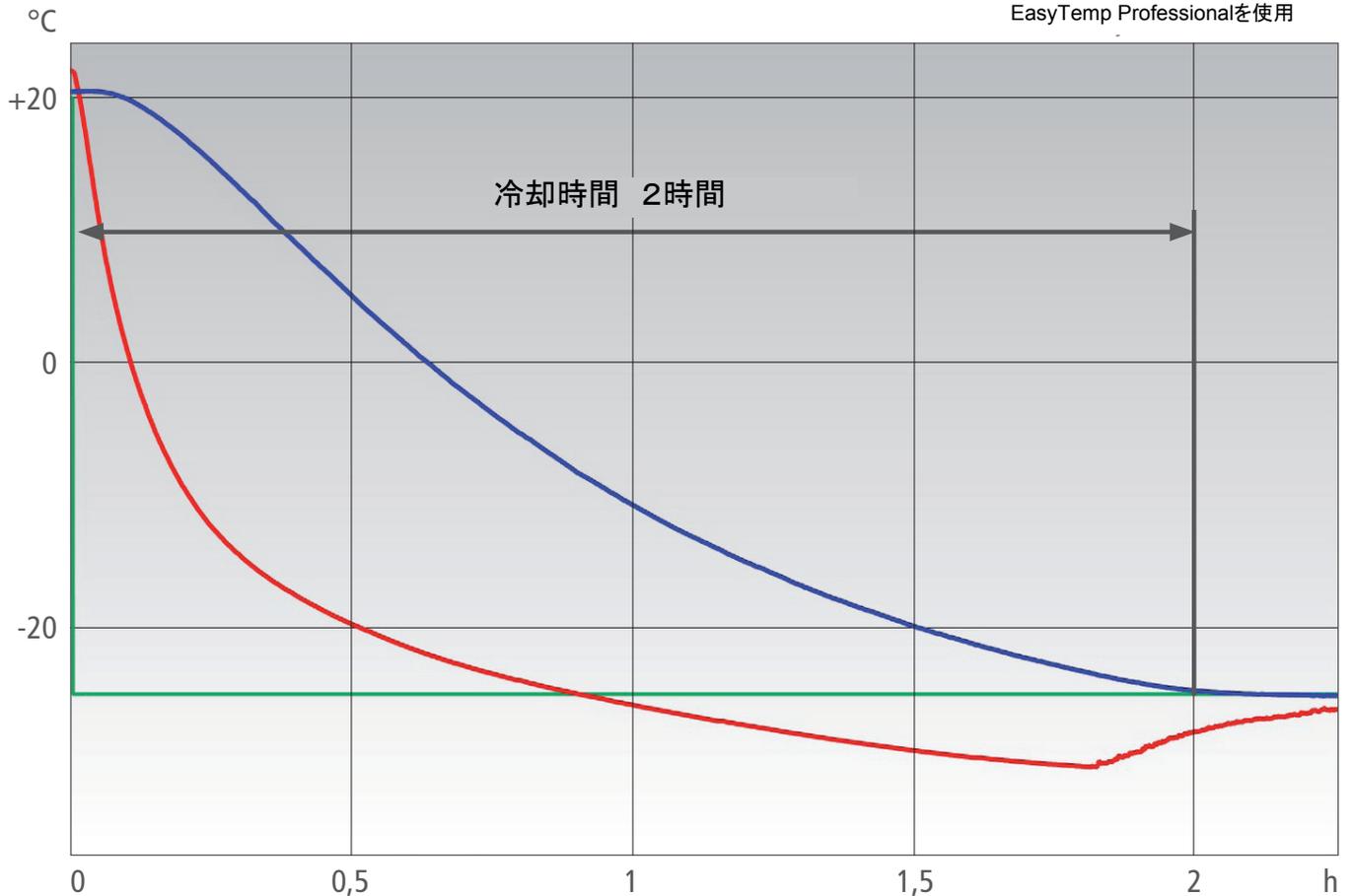
テフロンコーティングされたPt100センサーを使用しています。

次のページにも  
情報があります>  
>



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0

EasyTemp Professionalを使用



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

その他機能：  
ポンプ圧力を調整するためのオプションがあります。ユーザーにて、ポンプ圧力を設定する事が出来ます。



その他機能：  
PRESTOの機能をイーサネットインターフェイスにて操作する事が可能です。



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0